

I 特集：躍動した硬式野球部



令和3年春季県大会準々決勝
対藤代高8回裏二死一、二塁 堺堀君のレフト前で野々下君が生還

◆ 第73回春季関東地区高校野球茨城県大会45年ぶりのベスト4

硬式野球部顧問 井坂 拓海

今年度より顧問に就任いたしました、井坂拓海と申します。三の丸倶楽部会員の皆様方におかれましては、日頃より本校野球部への手厚いご支援・ご声援を賜り本当にありがとうございます。顧問就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。



2016年に母校・太田一高で新規採用となり、今年度で教員生活6年目となりました。今年の3月に異動先が水戸一高と決まった際は、学生野球の父である飛田穂洲先生に見守られながら指導ができること、そして伝統の臙脂のユニフォームに袖を通すことができることにとってもワクワクしました。実際に指導をしてみると、部員たちの素直さや向上心・吸収力が高いことに驚かされました。また、木村監督・高橋コーチ・清水コーチという様々な経験をされた方々の指導方法や野球観、チーム作りなどを間近で感じることができ、日々

とても勉強になっています。私自身はまだまだ力不足ではありますが、1日でも早くチームの歯車となれるよう頑張っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

第73回春季関東地区高校野球茨城県大会において、本校野球部は45年ぶりとなるベスト4に進出しました。大会を振り返ると、守備での粘り強さが勝因であったと感じます。鉾田一高との代表決定戦では、一打同点のピンチでヒットを打たれましたが、同点となる2塁走者をライト田中が好返球でアウトにしてのゲームセットでした。県大会1回戦のつくば国際戦では、1アウト満塁からヒット性の打球をセカンド中山が飛び込んで好捕し、ダブルプレーで凌ぎました。この2つのプレーで選手たちは守備の自信を深め、どんな場面でも落ち着いて粘り強くプレーすることができた結果のベスト4進出であったと思います。

大会期間中、三の丸倶楽部会員の皆様方をはじめとするたくさんの方々からご支援・ご声援をいただきましたこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがと

うございました。

木村監督は常々、「試合になると、たくさんの方が応援してくれる。試合に勝つと、たくさんの方が喜んでくれる。我々が一生懸命プレーすることで、たくさんの方々に元気や感動を与えることができる。だから、試合に勝つことの意味が他のチームより大きいんだよ」と選手たちに言い聞かせております。私自身も今年の春、そして夏の大会を通して、そのことを強く実感しました。今後とも応援していただけるチーム、元気や感動を与えられるチームであり続けながら「甲子園出場」という目標を実現させられるように、木村監督・小島部長・太田顧問・高橋コーチ・清水コーチ、そして16名の部員たちとともに日々挑戦してまいります。



◆ 第103回全国高等学校野球選手権茨城大会40年ぶりのベスト8



鹿嶋の地から親子で挑んだ水戸一野球

堺堀 かおり（令和2年度硬式野球部父母会会長）

昨年から続いているコロナ禍も依然として収束しない状況下でありましたが、2年振りの夏季茨城大会が無事に開催されました。

春季大会では45年ぶりのベスト4進出を果たし、メディアからの多くの注目を浴びる中、部員たちは全力で戦いに挑みました。

〈2回戦〉対麻生高校

猛暑および長丁場の大会を考慮して野口君、野々下君の投手リレーで相手打線を押さえ込み、打線の勝負強さも光り、逆転勝ちしました。

〈3回戦〉対日立一高

休日且つ伝統の一高対決、しかも監督の師弟対決ということもあり、球場には多くの観客が来場。

先発は、万全を期してエース石井君が今大会初登板となりました。檜山君が、自身初となる3ランホームランを放ち先制、中村君の二塁打により加点し、水戸一高有利の流れで回が進んでいきました。日立一高も粘りを見せ2点差



まで迫られましたが、守り勝つ野球で接戦を制しました。

〈4回戦〉対土浦三高

この試合は、野々下君が先発。7回3失点という内容でゲームを作ってくれました。攻撃面では着実に得点を重ね、勝利をたぐり寄せました。8回以降は石井君のリレーで相手の反撃を断ち、40年ぶりのベスト8進出を果たしました。

〈準々決勝〉対鹿島学園

昨年の秋季大会優勝校である鹿島学園との対戦。初回に1点先制されてからは、お互いのエースが一步も引かない投げ合いの試合展開となりましたが、相手に追加点を許し5点差のままで最終回を迎えました。最終回の攻撃では、多くの手拍子による後押しもあり粘りを見せましたが、反撃も2点止まりでベスト4入りを果たせず惜敗しました。



中学3年時に参加した野球部体験会以降、息子は水戸一高のユニフォームに袖を通してプレーすることを夢見て受験勉強を頑張りました。合格の知らせを受け親子で話し合い、文武両道に挑むべく鹿嶋市からの引っ越しを決めたことが、昨日のこのように思い出されます。

どうしたら勝てるのか、主将としてチームを纏めるべく日々苦悩したと思います。そんな息子とともに過ごせた時期は、お互いの人生にとっても貴重な時間だったと思える日がくると信じております。学校関係者、父母会、水府倶楽部および三の丸倶楽部会員の皆様などからの伝統校らしい組織だったご支援は心強い支えでした。

今後の水戸一高野球部も、特色選抜を導入するなどの状況変化があるかと思えます。古き伝統を守るとともに新しい伝統を作り、水戸一高野球部の発展と新チームの活躍を期待しております。

第103回 全国高等学校野球選手権茨城大会

二回戦 令和3年7月14日(水)ノーブルホームスタジアム水戸
 天候:晴
 試合時間:2時間31分(12:00~14:31)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
水戸一	4	0	0	4	0	0	1	0	2	11
麻生	1	5	0	0	0	1	0	0	0	7

バッテリー:野口(~2回0/3)・野々下一堺堀

三塁打:高村(4回) 田中(9回)
 二塁打:田中(1回) 佐藤(4回)
 単塁打:中山(1回) 檜山(1回・9回) 中村(6回) 高村(7回) 田中(7回)

出場メンバー

1番	センター	中村	(2年)
	9回サード	真田	(2年)
2番	キャッチャー	堺堀	(3年)
3番	ショート	高村	(2年)
4番	セカンド	中山	(2年)
5番	ファースト	檜山	(3年)
6番	サード	野々下	(3年)
	2回0/3ピッチャー		
7番	ライト	田中	(3年)
8番	ピッチャー	野口	(2年)
	2回0/3サード	村田	(1年)
	9回代打	栗林	(3年)
	9回センター		
9番	レフト	佐藤	(3年)



三回戦 令和3年7月18日(日)ひたちなか市民球場
 天候:晴
 試合時間:2時間29分(12:48~15:17)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
水戸一	0	0	3	0	0	1	0	0	0	4
日立一	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2

バッテリー:石井一堺堀

本塁打:檜山(3回ライト柵越えスリーラン)
 二塁打:中村(6回)
 単塁打:高村(1回・3回) 石井(2回) 中村(3回) 中山(7回) 田中(6回) 野々下(8回)

出場メンバー

1番	センター	中村	(2年)
2番	キャッチャー	堺堀	(3年)
3番	ショート	高村	(2年)
4番	セカンド	中山	(2年)
5番	ファースト	檜山	(3年)
6番	サード	野々下	(3年)
7番	ライト	田中	(3年)
8番	ピッチャー	石井	(3年)
9番	レフト	佐藤	(3年)



四回戦 令和3年7月20日(火)笠間市民球場
 天候:曇・晴
 試合時間:2時間16分(9:27~11:43)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
水戸一	2	0	2	0	0	0	0	1	0	5
土浦三	0	1	0	0	0	0	2	0	0	3

バッテリー:野々下(~7回)・石井一堺堀

二塁打:中山(8回)
 単塁打:中村(1回) 檜山(1回) 野々下(1回) 堺堀(3回) 中山(3回・5回) 田中(3回・8回) 佐藤(8回)

出場メンバー

1番	センター	中村	(2年)
2番	キャッチャー	堺堀	(3年)
3番	ショート	高村	(2年)
4番	セカンド	中山	(2年)
5番	ファースト	檜山	(3年)
6番	ピッチャー	野々下	(3年)
	8回サード		
7番	ライト	田中	(3年)
8番	サード	村田	(1年)
	8回ピッチャー	石井	(3年)
9番	レフト	佐藤	(3年)



準々決勝 令和3年7月22日(木)ひたちなか市民球場
 天候:快晴
 試合時間:2時間13分(13:00~15:13)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
水戸一	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
鹿島学園	1	0	0	0	0	2	0	2	X	5

バッテリー:石井一堺堀

二塁打:栗林(9回)
 単塁打:野々下(5回)

出場メンバー

1番	センター	中村	(2年)
	8回2/3センター	栗林	(3年)
2番	キャッチャー	堺堀	(3年)
3番	ショート	高村	(2年)
4番	セカンド	中山	(2年)
5番	ファースト	檜山	(3年)
6番	サード	野々下	(3年)
7番	ライト	田中	(3年)
8番	ピッチャー	石井	(3年)
9番	レフト	佐藤	(3年)



三の丸倶楽部の会員の皆様には、平素より母校硬式野球部に多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。本会の規約改定に伴い昨年4月より会長として現在に至っておりますが、これまで同様ご指導賜りますようお願い申し上げます。



さて、昨年の一高野球部は、新型コロナウイルスの影響で公式大会が開催されなかったため、当時の3年生にとっては練習の成果を発揮する場を失い、とても悔しい残念な思いであったと思っています。しかし、夏に開催された県独自の大会において、たくましく成長した3年生が中心となって熱い戦いを繰り広げてくれたことが今でも心に残っています。秋から竹内前監督から木村新監督へバトンタッチされ、さらに高橋コーチ、清水コーチを迎え新体制がスタートしました。ご承知の通り、今年の春の大会では45年ぶりのベス

ト4、夏の大会では優勝した鹿島学園に惜敗しましたが、実に40年ぶりのベスト8進出というすばらしい戦績を残してくれました。入場者数が限られる中、勝ち進むごとに球場に足を運ぶ野球部のOBや三の丸倶楽部の皆さんをはじめ一高野球部を応援する方々が増え、鹿島学園戦では一体となって拍手や手拍子で選手を応援していただいたことに感動を覚えるとともに、野球部に対する期待の大きさを実感しました。このすばらしい成績は、今年創部130周年を迎える水戸一高硬式野球部において先輩から後輩へと脈々と受け継がれてきた「一球入魂」の教えとグラウンドで日々愚直に野球に向き合い白球を追ってきた選手の成果であると考えています。

私ども水府倶楽部では、これからも選手がグラウンドで多くのことを学び、たくましく成長して、大会での活躍はもちろん、それぞれの進む道で社会を動かす人材になることを期待し支援していきたいと考えておりますので、あらためまして今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

水府倶楽部新体制のご紹介

水府倶楽部 幹事長 船橋 信正

藤田会長挨拶にもありましたように、昨年4月に水府倶楽部会則を改定し、最高職として新たに会長職を設け、母校硬式野球部監督の経験もある藤田知巳先輩（昭和53年卒）が新会長に就任しました。あわせて組織体制を見直しました。新体制・新役員は以下の通りとなっております。

役職	氏名	卒業年	備考
会長	藤田 知巳	昭53	
副会長	早川 満明	昭53	
副会長	中橋 晃文	昭53	
副会長	黒木 雅宏	昭58	
幹事長	船橋 信正	昭63	
常任幹事（事業・親睦委員長）	早川 満明	昭53	兼務
常任幹事（財務委員長）	田口 明生	平5	
常任幹事（広報委員長）	小室 吏	昭55	
常任幹事（名簿委員長）	船橋 信正	昭63	兼務
常任幹事（強化・企画委員長）	多田 健	昭63	
会計監査	藤枝 建夫	昭41	
会計監査	鈴木 昇	昭43	
顧問	平出 凱夫	昭33	
顧問	乾 修	昭41	
顧問	和知 忠伸	昭44	

ご覧の通り、役職者を増やすとともに、役割の明確化を行いました。さらに、グラウンド外からの支援を手厚く行うため、強化・企画委員会を新設いたしました。こうした体制のもと、現役部員達への支援を行って参りますので、引き続きよろしくお願いいたします。

創部130周年記念試合のご案内

このたび、水戸一高硬式野球部130周年記念試合を下記の通り開催することといたしました。同じ県立の歴史ある進学校である磐城高校との試合を通じて、水戸一高硬式野球部の歴史や現在の活動などについて、広く知っていただく機会となれば幸いです。

記

- (1) 日 時 令和3年11月28日(日)
9:30～ 開会式
10:30～ 記念試合
記念試合終了後 閉会式

※時刻は変更になる可能性があります。

- (2) 会 場 ノーブルホームスタジアム水戸(水戸市民球場)

- (3) 相手校 福島県立磐城高等学校

明治29年(1896年)創立の伝統校。野球部は春3回(後記交流試合を含む)、夏7回の甲子園出場を誇り、昭和46年(1971年)の第53回全国高校野球大会では準優勝に輝く。近年では、令和2年(2020年)の甲子園高校野球交流試合(第92回選抜高校野球大会代替試合)に出場。

- (4) 主 催 水府倶楽部

- (5) 後 援 三の丸倶楽部

- (6) その他 入場制限を行うか等については未定です。新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、水府倶楽部ホームページなどで改めてお知らせする予定です。

以上

Ⅲ 令和3年度前半活動報告

事務局長 森 利 克

前会報第26号発行(令和3年3月1日)以降の活動状況について時系列順に報告いたします。

(1) 今シーズンは3月14日(日)の牛久戦から練習試合が始まりました。4月の地区大会代表決定戦では銚田一に3-2で辛勝して県大会に出場し、初戦(二回戦)でつくば国際を7-0、三回戦では昨夏の茨城大会四回戦で惜敗した多賀を2-0、準々決勝では藤代を6回表3-1雷雨ノーゲーム翌日再試合の末8-5で破って準決勝へ進みましたが、4-5で常磐大高に惜敗して45年ぶりの関東大会出場を逃しました。

(2) コロナ感染が収束しないため、今年度の総会(昨年度の活動報告)は5月上旬に報告書類を会員各位宛てお届けして書面開催とさせていただき、活動内容および会計報告ともに承認いただきました。

(3) Bシードとして臨んだ7月の茨城大会では、初戦(二回戦)で麻生を11-7、三回戦で日立一を4-2、四回戦で土浦三を5-3で下して準々決勝へ進みましたが、その後甲子園出場した鹿島学園に2-5で敗れました。応援帽子を着用した多くの会員の皆様、応援ありがとうございました。

(4) 父母の会や会員の皆様のご協力による入会案内配布により、県内外から別表に示した多くの方々に入会いただきました。これにより、会員数は約210名、元会

員を含めた会員総数は約370名となりました。

(5) 本号では、4月に着任された井坂顧問(社会科教諭)に就任挨拶と春季大会報告を、父母の会会長の堺堀さんには、鹿島の地から親子で挑んだ水戸一野球への想いと茨城大会の報告を、水府倶楽部(野球部OB会)の藤田会長には就任挨拶を、同船橋幹事長には新体制と創部130周年記念試合について紹介いただきました。

(6) シリーズ記事「新・異・先端分野で活躍する先輩たち」には、平成19年卒で慈恵医大でも硬式野球部で活躍し、卒業後は母校の附属病院や各地の病院で勤務したのち、今年からミネソタ大学へ留学中の石川佳孝さんに後輩部員への激励メッセージを寄せていただきました。なお、紙面スペースの関係から、シリーズ記事「大学野球を目指す後輩部員たちへ」は休みました。

(7) 野球部への支援として、幹事会(ウェブ開催)の承認を得て遠征バス代25万円(2回分)とコーチ謝礼6万円(1名半年分)を会費から支出しました。7月末現在の会費残高は993,050円です。

(8) 『水戸一、来春から野球で特色選抜入試』と県教委が7月12日発表した。野球で実績があり、学業と両立してきた生徒を対象とする。野球の部活やクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、入学後も硬式野球部に所属することなどを出願要件としている。

別表 新会員（令和2年8月以降確定分）

No	氏名	居住地	備考
1	浅野 茂生	つくば市	知道会会員（昭和59年卒）
2	雨谷 勝利	水戸市	部員祖父
3	飯田 義之	笠間市	知道会会員（昭和39年卒）
4	井川 省衛	水戸市	知道会会員（昭和32年卒）
5	磯崎 雄司	水戸市	知道会会員（平成元年卒）
6	大井 健史	千葉県流山市	知道会会員（平成元年卒）
7	折橋 秀敏	ひたちなか市	令和3年卒父母の会
8	梶山 治郎	土浦市	知道会会員（昭和32年卒）
9	片岡 龍次	東京都世田谷区	知道会会員（昭和38年卒）
10	川勾 貴弘	那珂市	令和3年卒父母の会
11	川勾 まゆみ	那珂市	令和3年卒父母の会
12	見坂 恒明	石岡市	令和3年卒父母の会
13	古谷 英雄	筑西市	令和3年卒父母の会 昭和53年卒
14	齋藤 修	水戸市	知道会会員（平成6年卒）
15	榊原 勉	ひたちなか市	部員知人
16	榊原 悦子	ひたちなか市	部員知人
17	佐次 聖司	筑西市	令和3年卒父母の会
18	佐藤 芳子	東京都世田谷区	知道会会員（平成元年卒）
19	眞田 高明	那珂市	部員祖父
20	鈴木 静	ひたちなか市	部員祖父
21	高久 淳一	水戸市	知道会会員（昭和42年卒）
22	高村 洋子	日立市	部員祖母
23	田中 泉	水戸市	令和3年卒父母の会
24	豊田 和弘	日立市	令和3年卒父母の会
25	中村 利男	栃木県宇都宮市	部員祖父
26	埜 健久	千葉県佐倉市	知道会会員（昭和57年卒）
27	古畑 勇	広島県廿日市市	知道会会員（昭和38年卒）
28	宮下 公子	日立市	部員祖母
29	梁田 透	東京都中野区	知道会会員（昭和54年卒）



7月20日 笠間市民球場一塁側

熱く蘇る夏

昭和39年卒 飯田 義之

昭和38年、母校は春季県大会で優勝して関東大会へ出場し、9年ぶり4回目の甲子園が近づいていた。迎えた夏の大会、生徒会は一回戦の麻生高戦から全校応援を学校側へ要望したが、前例がないとして認められなかった。私はいったん登校した後にこそこそと県営球場に向かったが伏兵麻生高に9-4で敗れ、夢は潰えた。

今年のチームは春季関東茨城大会で準決勝まで勝ち進んだので、当然のことながら夏の大会は4回目の甲子園に向け期待が膨らんでいた。そして初戦（二回戦）、後輩たちは奇しくも58年前の相手麻生高に雪辱を果たしてくれた。6日後の7月20日、私は笠間市民球場一塁側のバックネットから少し離れた座席で土浦三高との対戦を待っていた。午前8時半とはいえ、天空に浮かぶ白い雲間から射し込んでくる熱線が容赦なく体を焼きつけてくる。突き抜けるような碧い空とぎらつく太陽、淀んだ足元の輻射熱がなぜか懐かしい。入り口付近で思いもかけず拝肩できた水府倶楽部幹事長の船橋信正氏、三の丸倶楽部事務局長の森利克氏、昭和38年一年生部員であった伊藤英夫氏、横浜など遠方から応援に駆けつけていた多くの先輩方に敬意を表したい。結果は5-3で土浦三高の反撃を振り切って40年ぶりの8強入りを果たしてくれた。

翌々日22日の準々決勝の応援にも家内の運転する車で応援に向かった。それまで無関心を装っていた孫娘（二年軟式テニス部）も友人と応援した。しかし、母校は昨秋の県大会を制した鹿島学園を相手に力尽き、春夏連続の4強入りはならなかった。帰途、球場の出口付近にいた孫たちの一団に出会った。ピクニックの余韻を楽しんでいるような笑顔がみえた。私は思わず声をかけた。「少し応援が足りなかったよ」と。その後、今年の甲子園へのキップは鹿島学園が獲得した。

この長く閉塞した空気を打ち破るほどの熱い情熱で声援を送りたくなるのはなぜだろう。甲子園を目指し、やがてその地を踏みしめるであろう後輩たちのひたすらな存在なのであろうか。三の丸倶楽部への入会に導かれた夏でもあった。

IV 「新・異・先端分野で活躍する先輩たち」

平成19年卒 石川 佳孝

水戸一高を卒業後、私は東京慈恵会医科大学医学部医学科に入学しました。医学部医学科を設置している大学は全国に約80校ありますが、その中で硬式野球部がある大学は10数校にとどまりません（準硬式野球部はたくさんあります）。幸い慈恵医大には硬式野球部があり、6年間野球を続けることが出来ました。

平成25年に大学を卒業後、外科に入局し、現在はミシガン大学胸部外科に留学し食道癌の研究をしています。留学は2年間の予定で、令和4年12月に帰国予定です。



アメリカでは妻と2人の子供と楽しい毎日を送っています。

専門は食道癌ですが、大学の医局人事で田舎の小さい病院に勤務することもあり、手術だけでなく様々な患者さんを診療します。それでも手術によって患者を治療することが出来る外科を選んで本当に良かったと思います。食道癌などの癌の手術、虫垂炎などの炎症の手術、時には外傷の手術を行うこともありますが、手術後に元気な姿で退院する患者をみると喜びもひとしおです。これはホームランを打ったときの感覚に似ています。手術は野球の試合と同じように、良い結果を得るために事前の努力が必要です。単純な知識だけではなく、手術治療が本当に妥当なのか、臓器や血管の異常はないか、腫瘍をどのように切除するのか、などのイメージトレーニングが非常に重要です。日本に帰国したら、たくさんの患者さ

んを救えるよう引き続き努力したいと思います。

さて、後輩たちの活躍はたびたび耳にしますが、その度に高校時代を思い出します。ほとんどが楽しい(つらい)野球の思い出です。特に今年は素晴らしい成績で大変嬉しく思います。高校を卒業して10年以上が経ちますが、現役の後輩たちに伝えたいのは、野球を楽しむこと、です。私は現役時代、練習よりも試合が嫌なときがよくありました。結果が出てしまうからです。今考えれ

ば、試合でもっと野球を楽しむことが出来ていれば、もっと良い結果が得られていたかもしれません。練習や試合でうまくいかないこともあるとは思いますが、人間なので当然です。そんな時はオンとオフをしっかりと切り替えて気分転換してみましょう。ずっと野球の事ばかり考えていると気が滅入ってしまうと思いますので、ほどよくリラックスしましょう。貴重な3年間の高校野球ですので、(もちろん練習と勉強はしっかりやって)存分に楽しんでください。

V 硬式野球部 名簿

(敬称略)

部長 小島 淳 監督 木村 優介 顧問 太田 泰助 井坂 拓海
ヘッドコーチ 高橋 直樹 バッテリーコーチ 清水 隆弘

二年生

主将



中山 晃靖
美野里中
内野手



秋田 啓人
美野里中
内野手・投手



内田 慧登
水戸四中
外野手



河原井 龍樹
水戸二中
捕手



日下部 貴一
東海中
内野手



眞田 創
那珂一中
内野手・投手



柴田 雄成
美野里中
外野手・投手



副主将

高村 泰彰
坂本中
内野手・投手



中村 颯一郎
勝田三中
外野手



野口 喜生
友部二中
投手・外野手



杉山 菜乃華
勝田一中
マネージャー



一年生

関 琢未
那珂四中
投手・内野手



平塚 惇和
友部二中
外野手



三浦 太輝
駒王中
外野手



副主将

村田 遼真
緑岡中
内野手



井澤 更紗
友部中
マネージャー

Ⅵ 試合結果

令和3年前半 公式戦・準公式・定期戦結果				
月	日	大会	球場	結果
1	2(土)	豚汁会	水戸一	中止
4	13(火)	春季地区代表決定戦	笠間市民	○3-2 銚田一
	24(土)	春季県大会二回戦	〃	○7-0 つくば国際
	30(金)	〃 三回戦	〃	○2-0 多賀
5	3(月)	〃 準々決勝	ノブホームスタジアム	○8-5 藤代
	5(水)	〃 準決勝	コムスタジアム	●4-5 常磐大高
	29(土)	水無月杯	常磐大高	●7-11 常磐大高
7	14(水)	茨城大会 二回戦	ノブホームスタジアム	○11-7 麻生
	18(日)	〃 三回戦	ひたちなか市民	○4-2 日立一
	20(火)	〃 四回戦	笠間市民	○5-3 土浦三
	22(木)	〃 準々決勝	ひたちなか市民	●2-5 鹿島学園

令和3年前半 練習試合結果				
月	日	球場	結果	
3	14(日)	牛久	●3-10 牛久 ○14-13 〃	
	20(土)	佐和	○17-3 つくば工科・伊奈 ●6-10 佐和	
	23(火)	向上(神奈川県)	○10-9 横浜翠陵 ○4-2 向上	
	25(木)	はぎまる(高萩市営)	●6-11 日立一 ●2-4 水海道一	
	26(金)	関東一	●0-8 関東一 ●0-28 〃	8回終了
	31(水)	ノブホームスタジアム	○4-3 栃木農 ○4-3 〃	
	4	3(土)	國學院栃木	●4-5 國學院栃木 ○11-10 〃
4(日)		日立北	○6-4 日立北 ●4-11 取手一	
10(土)		桜ノ牧	△8-8 桜ノ牧 ○6-5 〃	5回終了
18(日)		勝田工	●3-12 勝田工 ○11-3 〃	
5	9(日)	水戸一	●1-10 緑岡 1-4 日立商	4回表降雨中止
	22(土)	常陸大宮市民	●3-5 水戸葵陵 ●3-6 〃	7回終了
	23(日)	常陸大宮市民	○8-3 波崎柳川 ○10-4 〃	
	30(日)	霞ヶ浦	○2-0 霞ヶ浦 ●4-16 〃	
6	5(土)	太田西山	●7-9 太田西山	
	6(日)	水戸一	0-0	7回紅白戦
	12(土)	磐城	△4-4 磐城 ○19-7 〃	
	13(日)	常陸大宮市民	●5-8 水海道一 △7-7 〃	
	21(月)	岩瀬日大	●2-5 岩瀬日大 △6-6 〃	
	22(火)	作新学院	●2-14 作新学院	
7	27(日)	常陸大宮市民	●3-12 牛久 △3-3 〃	
	3(土)	栃木農	●4-6 栃木農	
	4(日)	桜ノ牧	●6-11 桜ノ牧 ●2-5 〃	

新チーム 令和3年後半 練習試合結果				
月	日	球場	結果	
7	25(日)	常陸大宮市民	●5-14 日立一 ●2-6 〃	
	29(木)	ノブホームスタジアム	●3-6 牛久 ●2-7 〃	
8	2(月)	中京大中京	●5-19 中京大中京 ●5-8 小松島西	
	3(火)	豊橋中央	○10-7 豊橋中央	中村サイクルヒット
	5(木)	常陸大宮市民	●7-15 茨城	

今後の試合予定は三の丸倶楽部ホームページの試合予定でご確認ください。

三の丸倶楽部

顧問：稲葉 節生 (S38年卒元茨城県教育長、
知道会会長)
会長：鬼澤 邦夫 (S38年卒常陽銀行特別顧問)
事務局長：森 利克 (S38年卒)
幹事：
照沼 貞夫 (S47年卒、H20年卒父母の会)
鹿島 陽夫 (S63年卒)
船橋 信正 (S63年卒、水府倶楽部幹事長)
飯田 芳久 (H元年卒)
蒲原 博 (R元年度父母の会会長)

////// 会員を募集しています //////////////////////////////////////

- ◇水府倶楽部(野球部OB会)及び現野球部父母会の会員以外どなたでも入会できます。
- ◇特典：会員帽子の配付(入会時)
会報(年2回)の送付
ホームページ「試合予定」、「試合結果」
詳細の閲覧など
- ◇年会費：一口 3,000円(何口でも可)
- ◇振込先：常陽銀行本店営業部
普通 2945619
サンノマルクラブ
- ◇手続き：氏名、住所、TEL番号、メールアドレスを下記までご連絡ください。
森利克
Tel/Fax: 0294-53-1351
E-mail: ihm2158@ak.wakwak.com

////// 編集後記 //////////////////////////////////////
かつて、部員の少ないセンバツ初出場チームが準優勝し大きな話題となったことがある。昭和49年の徳島県立池田高校だ。選手が11人だったため『さわやかイレブン』と呼ばれた。そのときの監督が後に攻撃重視のチーム『山びこ打線』の池田として一時代を築くことになる『攻めダルマ』こと薫文也さんだ。それから3年後(昭和52年)のセンバツ、今度は選手12人の高知県立中村高校が準優勝した。こちらは『二十四の瞳』と呼ばれた。中村は40年後の平成29年のセンバツに出場するが、そのときもベンチ入り登録人数18人に満たない16人だった。他にも昭和62年センバツの和歌山県立大成高校の10人、最近では平成29年の岩手県立不来方高校(こずかた 21世紀枠)の10人というのもあった。
春・夏の一高の活躍は会報誌面のとおりだが、すでに来年のセンバツに向けた新チームの戦いが始まっている。部員数の減少により苦戦が予想されるが、今年の経験を活かし頑張ってくれるに違いない。(照沼)